



笑

彦頁

NO. 69

ホームページアドレス
Eメールアドレス

<http://www.okabenishi-e.ed.jp>
okanishi-e@okabenishi-e.ed.jp

「学力・学習状況調査」結果及び今後の取組について

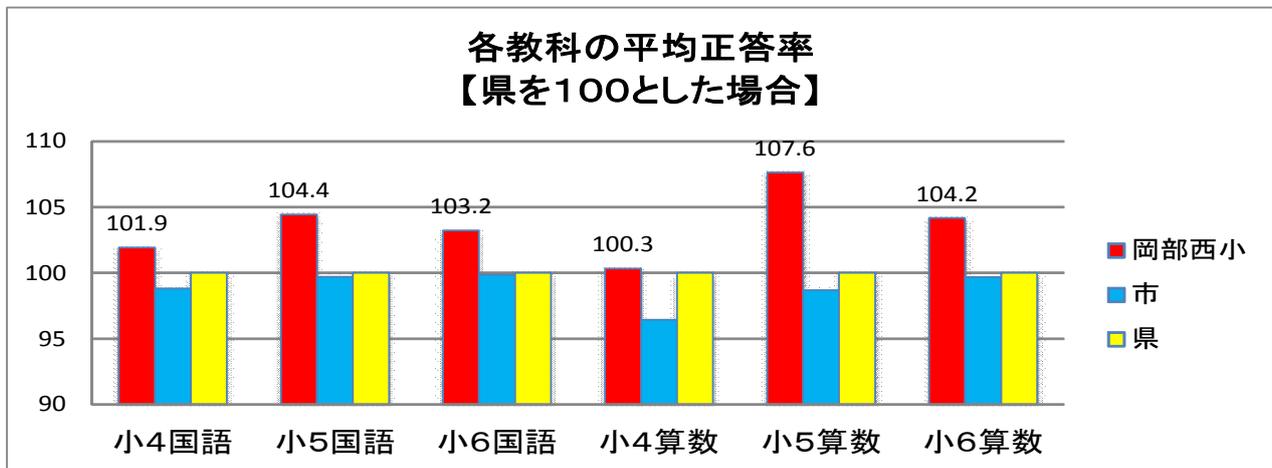
本年度実施された「全国学力・学習状況調査」及び「埼玉県学力・学習状況調査」の調査結果が公表されました。このことを受け、本校では児童一人一人の学習状況を把握し、児童への学習指導や実情等の改善に役立てるため、分析を行いました。その結果と今後の取組について報告します。

1 「埼玉県学力・学習状況調査」について

(1) 趣旨

埼玉県では、全県的な教育水準の維持向上を図る観点に立ち、県独自に平成27年度から、「埼玉県学力・学習状況調査」を実施することになり、今年度は4月13日に実施しました。この調査は、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばすため、学習内容をどの程度身に付けているかを把握するとともに、学習に対する興味・関心などの状況を調べるために県内の小学4・5・6年生、中学1・2・3年生を対象に、「国語」「算数」（「英語」）及びアンケート形式の「児童生徒質問紙調査」で実施しています。

(2) 結果



(3) 分析:本校のよかった点と課題 (○よかった点、●課題)

<国語>

- 4年 ○漢字、自分の意見を書く。
●指示語、登場人物の読み取り。
- 5年 ○漢字、自分の意見を書く。
●修飾語、接続語、慣用句。
- 6年 ○漢字、文法、ことわざ。
●物語の読み取り。
理由を挙げながら自分の考えを書く。

<算数>

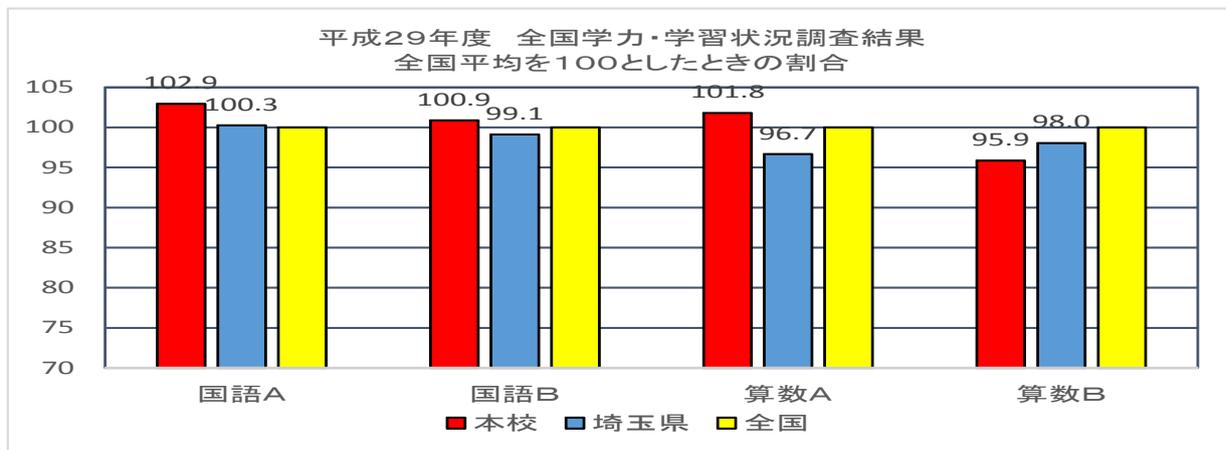
- 4年 ○重さの単位。分数と小数の大小。
●数直線の理解。箱の形の理解。
コンパスの使い方。
- 5年 ○直方体の性質。計算力。
●およその面積の表し方。
- 6年 ○体積の単位。計算力。
●角柱の展開図、円周率の定義。
多角形の内角の和の求め方。

2 「全国学力・学習状況調査」について

(1) 趣旨

国は、平成19年度から、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、その成果と課題を検証し、改善を図ることを目的として小学6年生、中学3年生を対象に、国語と算数・数学、児童生徒の学習・生活環境のアンケート調査を行っています。

(2) 結果



国語A・算数A…知識に関する問題 国語B・算数B…活用に関する問題

(3) 分析: 正答率が高かった問題と低かった問題 (○高かった問題、●低かった問題)

【国語】

- | | |
|-------------------------------|---------------|
| | 本校平均値 (全国比較) |
| ○漢字を書くこと。 | 61.7% (+19.7) |
| ○場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話す。 | 61.7% (+13.3) |
| ●俳句の情景を捉える。 | 59.6% (-19.8) |
| ●考えの共通点や相違点を整理しながら進行に沿って話し合う。 | 55.3% (-13.9) |

【算数】

- | | |
|---------------------------|---------------|
| ○表の合計欄に入る数を求める。 | 83.0% (+20.2) |
| ○商を分数で表す。(5÷9) | 80.9% (+11.7) |
| ●任意単位による測定を基に比較しているものを選ぶ。 | 53.2% (-17.5) |
| ●仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める。 | 10.6% (-15.5) |

3 今後の取組

(1) 指導方法の工夫改善

- ①自分の考えや根拠を明確にして書く活動を効果的に取り入れた授業の実践
 - ・説明する力や思考力等を高めるために、自分の考えを順序立てて説明できるような授業展開を行う。
- ②両学力調査の結果と課題を踏まえた学習指導やスキルアップタイムの一層の充実
 - ・書く力を高めるため、発達段階に応じた語彙シートを活用するなど、語彙を増やすとともに段落や表現の仕方について確実な定着を図る。
 - ・個人や学年の課題に応じた読解プリント、算数ボックスのプリントを活用し基礎的基本的な力の確実な習得を図る。
- ③書画カメラやタブレット端末等、ICTを一層効果的に取り入れた授業の実践
 - ・算数以外の教科等においても、グラフや資料などを効果的に提示する授業を行い、読み取る力の向上を目指す。

(2) 家庭・地域との連携

- ①学習時間のめやすの周知と見届け。
 - 「学年×10分+10分 (1年・20分…6年・70分)」
- ②生活見直し・ノーテレビノーゲームデーの取組の徹底。
- ③地域の方々に協力いただく教育活動や授業実践の一層の開発。